

対応について  
学校における  
カスタマーハラスメントへの

**近**年、顧客や取引先からの暴力や悪質なクレーム等の著しい迷惑行為であるカスタマーハラスメント、いわゆるカスタハラが社会問題化しています。学校現場においても保護者や地域住民との間で生じた問題が、教職員に対するクレームや過度な要求に発展する事例を確認しており、その実態調査を行っていくべきだと求めました。県教育委員会は、教職員が安心して働ける職場環境づくりが大切であり、保護者や地域住民などから寄せられる様々な意見等については、組織として対応していく必要があるとしています。

また、今後県庁部局において実施を予定しているカスタハラの実態調査に、県立学校も含めるように調整を行い、学校現場においても実態把握に努めていくと答弁がありました。

県教育委員会では、法律実務に精通した法曹有資格者を

スクールロイヤーとして配置しており、専門的な知見を生かしながら対応に当たっていることから、その活用事例を広く学校と共有していくように要望しました。

子どもたちが笑顔でいるためには、学校現場の教職員も笑顔で働いてもらわなければなりません。

県教育委員会におけるカスタハラへの対応は、相模原市教育委員会においても共有されるべきだと考えています。

**相**模原市が令和4年度から設置している夜間学級は、県立神奈川総合産業高等学校を使用して授業が行われています。

『中学校までの学習内容を身につけたい、高校に進学したい、もっといろいろな仕事ができるようになりたい。』

こうした目標や夢を応援するための公立中学校の夜間学級です。

この夜間学級には、すでに夜間中学を設置している横浜市、川崎市以外で、県内市町村に在住しているか、在勤している方々などが通うことができます。

3年目となる本年は、3年生から1年生までの29名が在籍しており、住所も、国籍も、年齢も様々な生徒たちが、自己実現のために学びを深めあっています。

私が訪問した日も、笑顔で授業が始まりました。

仕事を終えて急いで来た生徒や、遠くは藤沢市から来た生徒、教員よりも高齢の生徒などもおられましたが、どなたも学ぶことへの喜びを感じながら授業を受けているようでした。

夜間学級で学びなおしをする理由は様々ですが、不登校児童・生徒数が増加している現状だけみても、ますます夜間学級の役割は重要になってくるのではないのでしょうか。

相模原市の夜間学級には、生徒が県内広域から通えることから、神奈川県も高校施設の提供等を行っています。

今回の視察によって、教室スペースの不足や、冷暖房環境の改善点などの施設面での課題が見えてきました。

またスクールソーシャルワーカーなどの専門職は、相模原市以外の自治体との連携も視野に入るため、県費による負担ができないかと考えており、今後県教育委員会に働きかけていきます。相模原市立夜間学級では、令和7年度も生徒募集を行います。

視察報告

相模原市立大野南中学校分校  
〔夜間学級〕を訪問して



POSTCARD

2 5 2 0 1 4 3

お手数ですが  
切手をお貼り  
ください

相模原市緑区橋本6-17-3  
広木ビル1階-2

小田貴久 事務所  
行

ご意見 ご要望	
お名前	フリガナ
ご住所	
連絡先	

お名前・ご連絡先をご記入いただくと幸いです。  
※いただいた個人情報は、細心の注意を払って適正厳正に管理します。